

トリプケースソイ 5%ヒツジ血液寒天培地 (TSS)

Trypcase Soy Agar + 5% sheep blood (TSS)

微生物の分離、溶血性の確認

用途

トリプケースソイ 5%ヒツジ血液寒天培地は臨床検体より検出される全ての微生物の分離に使用する培地です(1)。

原理

本培地は複数のペプトンを含んでおり、微生物の発育を支持します。

ヒツジ血液が含まれているため溶血反応を確認できます。溶血反応は微生物同定の判断のための基礎的な基準になります(2, 3)。

キット構成

	調製済み培地
REF43001	平板培地 (90mm) 10 枚 × 2 パック
REF43009	平板培地 (90mm) 10 枚 × 10 パック TSS*

*各シャーレに印字

組成

精製水中の組成 (g/L)

カゼインペプトン (ウシ)	15g
ソイペプトン	5g
塩化ナトリウム	5g
寒天	15g
ヒツジ血液	50mL
精製水	1,000mL
	pH7.3

必要な器材

- 大気環境調整装置
- ジャー
- ふ卵器

使用上の注意

- *in vitro* 試験、微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者がご使用下さい。
- 本製品は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、培養物および検体を接種した製品は感染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。被検菌の無菌操作および通常操作の留意事項は以下のガイドラインをご参照下さい。安全ガイドライン: NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue; Approved Guideline – Current Revision» 操作留意事項: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories – CDC/NIH – Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- 培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。

- 包装が破損している製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションの起きている、溶血している、または水分が浸出している培地は使用しないで下さい。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。
- 試験結果の判定の際には、患者の履歴、検体の由来、コロニー形態や検鏡結果、および必要に応じて行った他の試験結果を考慮に入れて下さい。

保管方法

- 箱未開封の状態、2-8°C下で有効期限まで保管可能です。
- 箱開封後、セロファン袋中では、2-8°C下で2週間保管可能です。

検体

あらゆる種類の検体について、培地に直接接種し使用できません。

採取や輸送に関しては GLP (Good Laboratory Practices) に準拠し、検体の種別によって適切に処理してください。

本培地は、純培養菌を得るための継代培養にも用いることができます。

使用法

1. 培地を室温に戻します。
2. 検体を接種します。
3. 適切な大気環境を用意します(必要に応じて大気環境調整装置を使用します)。
4. フタを下側にして 37°C で培養します。最新の標準法に従い、用途に応じて適切な温度で培養して下さい。培養時間は検体および被検菌の種類により異なります。通常、24-48 時間培養後に確認します。必要に応じて培養時間を延長して下さい。

判定

- 培養後、菌の発育を確認します。
- 溶血性についても観察します。
 - α 溶血: 緑色の縁のコロニー
 - β 溶血: 周囲または下が透明のコロニー
- 分離された菌の同定に関しては生化学又は免疫学的試験を行って下さい。

品質管理

プロトコール:

培地の発育支持能は、下記菌株を用い試験できます(炭酸ガス環境):

- *Streptococcus pyogenes* ATCC19615
- *Streptococcus pneumoniae* ATCC6305

判定:

菌種	33-37°Cでの試験結果	
<i>Streptococcus pyogenes</i> ATCC19615	24 時間で 発育	β 溶血
<i>Streptococcus pneumoniae</i> ATCC6305		α 溶血

注意:

培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株の数、培養温度等)に従って品質管理を実施されることをお勧めします。

留意事項

- 発育の度合いは微生物各個体の要求性に左右されます。従って、特殊な要求性(増殖因子、温度、培養条件等)を有する菌株は発育しないことがあります。
- 溶血性は、菌種と各分離株の特異的な性状に依存します。
- 検体や被検菌の種類によっては、トリプテケースソイ 5%ヒツジ血液寒天培地と追加培地(選択培地、チョコレート寒天培地等)を併用されることをお勧めします。

性能

細菌 34 菌株 (*Streptococcus pyogenes*, *Streptococcus agalactiae*、グループ C レンサ球菌、グループ D レンサ球菌、*Streptococcus pneumoniae*、ブドウ球菌及びその他グラム陽性球菌、グラム陰性桿菌、*Listeria* 属、嫌気性菌)と真菌 (*Candida* 属)1 菌株を用い、37°Cにて性能が評価されました。

発育支持能:

全ての菌株は、24~48 時間以内に発育しました。

溶血性:

下記の溶血性が 24 時間培養後に観察されました。

- β 溶血—*Streptococcus pyogenes* 5 株、*Listeria* 属(*L. monocytogenes*, *L. seeligeri*, *L. ivanovii*)4 株。
注意: β 溶血性の特徴を持たない菌種: ある種のブドウ球菌、*Streptococcus agalactiae*、グループ C レンサ球菌も β 溶血を生じました。
- α 溶血—*Streptococcus pneumoniae* 5 株

廃棄処理

使用の有無にかかわらず、他の汚染廃棄物とともに、感染の危険性のある物質の廃棄方法に従い廃棄して下さい。廃棄産物や流出産物は使用施設の責任の元、それぞれの性質や危険性の度合いに応じて適切な規制に従い廃棄して下さい。

参考文献

1. R.M., *Handbook of microbiological media* – CRC Press, 2000.
2. FACKLAM R.R., PADULA J.F., MORTHAM E.C. and al. –Presumptive identification of group A, B, and D streptococci on agar plate media. – *J. Clin.Microbiol.*, 1979, vol. 9, n°6, p. 665-672.
3. FLANDROIS J.P., CHOMARAT M. – *Bactériologie médicale pratique* - MEDSI / Mac GRAW-HILL, 1989 – ISBN 2-86439-161-9.
4. MURRAY P.R., BARON E.J., PFALLER M.A. et al. – *Manual of clinical microbiology* – 6th ed. – Washington D.C. : ASM Press, 1995 – ISBN 1-55581-086-1.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	有効期限
	ロット番号
	使用手順を参照
	試験可能数

(問い合わせ先)

製品関連
 ビオメリュー・ジャパン株式会社
 臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034
 産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

ビオメリュー・ジャパン株式会社
 TEL: 03-6834-2666(代表)

*本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。
<http://www.biomerieux-jp.net/>

ビオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号赤坂溜池タワー2 階
 Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667
<http://www.biomerieux.co.jp>



376 Chemin de l'Orme
 69280 Marcy-l'Etoile/France
 Tel.33(0)4 78 87 20 00 /
 Fax33(0)4 78 87 20 90
<http://www.biomerieux.com>



BIOMÉRIEUX